

多職種で取り組む自律型人材を育成

「多職種で取り組む自律型人材の育成」をめざし、外部講師による院内多職種参加型のファシリテーション研修を行いました。ファシリテーションとは、様々な立場の人が集まった際に、遠慮なく発言し参加出来るような場をつくり、意見や感情のやりとりをスムーズにし、そこから生まれる知恵や力などの成果を最大化していく技法です。

1回目を5月25日(木)・26日(金)、2回目を6月12日(月)・13日(火)の日程で、それぞれ同じ内容を2日間ずつ実施しました。5月、6月あわせて計46名の方が参加し、看護師だけでなく、多職種で様々な体験ワークを交えて楽しく学ぶことができました。

はじめはファシリテーションに苦手意識を感じていた参加者も、ファシリテーターの役割は「プロセスをデザインし、促進していく事」であること、場の主役は参加者であること等々を学び、実践で活用してみたいという前向きな気持ちに変化しました。1日目は場の緊張をほぐし、空間やグループサイズの間づくり、そしてカンファレンス体験を通して対話を促進する方法を学びました。この経験を通して、参加者の聴く姿勢・話す姿勢が、どんどん変わっていききました。2日目は自分がみんなと話し合ってみようという気持ちについて、実際にプログラムをつくりました。あとは、実践あるのみです。その後の変化がとても楽しみです。



講師：ナースファシリテーター・
ワークショップデザイナー
浦山絵里先生(愛称：うらりん)

上席看護師長 大内晶美

